



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024 年 6 月 28 日

都道府県知事

（市長）いわき市長 殿

提出者 鈴木 進一郎

住 所 いわき市常磐下船尾町杭出作23-5

氏 名 クミネ工業㈱いわき事業所  
所長 古和口 典明

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0246-44-7100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	クミネ工業㈱いわき事業所
事業場の所在地	いわき市常磐下船尾町杭出作23-5
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：製造業	中分類：精製ベントナイト、空気清浄剤、農薬用基材、合成スメクトン、動物用医薬品
② 事業の規模	製品出荷額：95,160万円	
③ 従業員数	44名（社員40名、派遣4名）	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙	

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長

(処理計画統括責任者)

課長

業務係長

(処理計画作成及び廃棄物担当)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	1,449.69 t	6.99 t
	(これまでに実施した取組) 2023年10月より乾燥機が稼働したことにより、汚泥廃棄量が目標値より下回ったが、全量乾燥には至っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	排出量	1,200.0 t	6 t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) 乾燥工程稼働により、20%削減を目指します。 (廃プラスチック) 分別及び、廃棄量を減らすことで5%の削減を目指す。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック：ポリ袋関係のみ分別してリサイクル廃棄。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック：消耗品を分別してリサイクル廃棄を増やす。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

—

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	金属くず
	排出量	316.76 t	2.52 t
	(これまでに実施した取組) 製造品切り替えの際、発生する残液を極力少なくなるよう生産調整を継続的に行っている。 工場排水基準をより厳しくしたことにより、排出量が倍増したため、削減方法を検討中。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	金属くず
	排出量	250 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) (廃アルカリ) 工場排水を減らすことで、20%の削減を目指す。 (金属くず) リサイクル可否を確認し、分別をして排出量を減らすことで、20%削減を目指す。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉄くず及びステンレスを分別リサイクルへ
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 鉄くず及びステンレスを分別リサイクルへ

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

—

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	0.78 t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	0.5 t	t
	(今後実施する予定の取組) 木製パレット削減とプラスチックパレットへの移行。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

—

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	がれき類
	排出量	0.28 t	0.66 t
	(これまでに実施した取組) 工場照明の一部をLEDに変更		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず	がれき類
	排出量	0.2 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 工場照明を順次LEDへ。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 一部工場照明をLEDへ変更
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 順次、全ての工場照明をLEDへ変更することで、電球交換を減らす

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) —	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) —	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) —		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	1449.69 t	9.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	22.73 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1426.96 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	2.81 t
	(これまでに実施した取組) (汚泥) 工程戻し及び水分を減らすための調整剤を無くし、そのまま吸引することで、廃棄量を削減		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	金属くず
	全処理委託量	316.76 t	2.52 t
	優良認定処理業者への処理委託量	316.76 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	2.52 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず
	全処理委託量	0.78 t	0.28 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.78 t	0.28 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 使用可能なパレットを選別し、発送や在庫保管時に使用することで、廃棄量を削減する。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) —		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック
	全処理委託量	1,200 t	6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	20 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1180 t	4 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	2 t
	(今後実施する予定の取組) (汚泥) 乾燥工程増強により全処理量を削減する (廃プラ) 消耗品(手袋等)を分別し、リサイクルへ		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	金属くず
	全処理委託量	250 t	2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	250 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>急な製造切り替えによる廃液の排出を抑えるため、切り替えを少なくすることを継続的に実施。</p>		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	ガラスくず
	全処理委託量	0.5 t	0.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>修理可能なパレットの分別、再利用及びプラスチックパレットへの移行。</p> <p>照明のLED化による全処理量の削減</p>		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。